

東洋医学臨床論

作成：りんご鍼灸院

分類	原因	主要症状	舌脈症状	随伴症状		
1 頭痛	分類					
	風寒	寒邪 気血運動障害	急に発病し疼痛も激しく持続性がある			
	風熱				熱(火)邪 炎上	
	肝陽亢進	脳は髄の海。肝腎に臓されている清血と脾胃の運化による水穀の精微により栄養される。緩慢に発病 脾肝腎三臓と密接な関係	前額部痛い、頭がぼんやりする(被ったような) 刺痛、鋭痛、疼痛部位が一定。頭部外傷歴有り	舌苔白膩 脈滑	胸苦しい、胃のつかえ、悪心、嘔吐、泥状便	
	痰濁					清陽がうまく頭部に達しない
	血					外傷or久病により脈絡が阻滞
腎虚	髓海が空虚に					
気血両虚	虚 気虚 清陽が頭部に昇らず 血虚 頭部を栄養できない	隠通、疲れて増強 脾気虚が根	下質淡 舌苔白 脈細無力	倦怠感、無力感、心悸、食欲不振、顔色不華		
2 顔面痛	風寒	寒邪の収引性 経脈が拘急 気血が滞る	疼痛は冷す 増強、温める 軽減	舌質淡 脈浮緊	外感による悪寒、発熱、鼻汁	
	肝火	悩み、心配事、怒り 肝の疏泄機能失調 肝鬱 化火 火の炎上性 顔面	肝鬱、食滞より生じた火が陽明経脈に沿って顔面部へ	舌質紅、舌苔黄で乾いている、脈弦細or脈洪数	煩躁、怒りっぽい、口渇、便秘	
	胃火		灼熱性の疼痛、顔面部のある部位に触れると誘発 灼熱性		口渇、便秘	
	陰虚	虚 陰虚 虚火 顔面部に炎上	水を司る腎精不足 火を制御できない	現病歴長い、疼痛激しくなく、疲れて増強	舌質紅、舌苔少、脈細数	精神疲労、痩せている、腰のだるさ
3 顔面麻痺	風感	風寒の邪 顔面の経絡の空虚に乗じ 陽明、少陽の脈絡に侵襲 経気のめぐり経筋の栄養状態不良	眼を広く開き、患側の口角は健側に引かれ、鼻唇溝消失、しわがなくなる	舌苔薄白、脈浮緊o浮緩	耳後&下の疼痛、聴覚過敏 麻痺側の舌前2/3の味覚減少・消失 患側筋の拘縮、攣縮	
	a. 少陽					
	b. 陽明					
c. 肝血虚						
4 歯痛	三叉神経痛からの歯痛	実火 = 胃・大腸の火。辛・甘・油等の偏食 胃腸の熱盛ん 陽明経脈に沿って歯肉に上炎 体質的に陽盛で内熱のある者 風邪の侵襲 風火が陽明経脈に鬱し 経脈に沿って歯へ	激しい歯痛、歯肉の腫脹・発赤、頬部の腫れ	舌質紅、舌苔黄色、脈洪数*滑数	口臭、口渇、便秘	
	実火					
	風火				悪寒、発熱	
腎陰虚(虚火)	虚 腎は骨。歯は骨余。腎陰不足 歯髓空虚、栄養不良 虚火が上炎	歯の鈍痛、時々歯痛。歯肉が萎縮、また歯が浮いて動く	舌質紅、舌苔少、脈細数	歯痛が午後・夜間に増強、噛む力弱い、腰背部だるい痛み、めまい、耳鳴り		
5 眼精疲労	肝血虚	肝は目に開竅。肝血は目を栄養。目の栄養不足 遠視、近視、老視及び平素から体の弱い者が目の使いすぎ 気血消耗。肝腎の精血不足、目を十分に栄養できない	眼精疲労、眼の渇き、かすむ、視力低下、眼の腫痛	舌質淡、舌苔薄、脈細	めまい、耳鳴り、健忘、胸脇苦満、手足の痺れ、震え、拘急	
	肝腎陰虚					

東洋医学臨床論

作成：りんご鍼灸院

6 鼻閉・鼻汁	内傷性	肝胆の鬱熱	実 辛い物を偏食、飲酒習慣 湿熱がこもる 肝胆の疏泄機能失調 気が鬱し化熱 脳を犯し脳汁が漏れ鼻淵	肺熱が肝胆に伝わり上演上炎する	鼻汁は黄色で濁って粘り、量多い、臭い、鼻閉、嗅覚減退	舌質赤、舌苔黄、脈弦数	頭痛or片頭痛、咽頭部の乾き、めまい、耳鳴り、難聴	
		脾経の湿熱	甘い物、油っこいものを偏食 体内に湿熱がこもりやすい 脾の運火機能悪化 清気が昇らず濁陰が降りず湿熱が陽明経脈に沿って鼻へ		(おそらく上に同じ)		腹部膨満感、食欲不振	
		肺気虚	虚 1. 肺気虚 衛外機能低下 外邪 邪毒が停滞、年中くりかえす者も	2. 肺気不足から治節機能低下	鼻汁は白色、粘り、量多い、臭いなし、嗅覚減退、鼻閉は時に軽く時に	舌質淡、舌苔薄白、脈緩弱	頭重感、めまい、自汗、悪風、息切れ、話すのがおっくう、声に力がない、咳嗽	
		脾気虚	飲食不節や過労、思慮過度 脾胃損傷 気血生成不足 精陽が頭顔面部に昇らず鼻が気血の栄養不足 邪毒停滞 精神的刺激 心火盛ん 血熱により内風		(おそらく上に同じ)		脾に関する症状、気虚の症状	
7 脱毛症		血熱	実	血停滯(新血が生じない) 血行障害 毛髪栄養不良、持続的に経過	部分的脱毛	舌質紅、舌質黄	口渇、便秘、尿黄色	
		血	虚	慢性疾患、産後 髪が栄養不良	気血が虚 毛	痒感ない	舌質淡、脈細弱	息切れ、心悸、顔につやがない
		肝腎陰虚	虚	髪は血の余り 肝腎陰虚の陰血不足 毛髪栄養不良	持続的に脱毛、頭頂または両額角から次第に脱毛。頭皮油脂多い	舌質紅、舌苔少、脈細数	舌質暗紅、斑、脈	口渇but飲みたくない、顔色どす黒い
		肝陽亢進	実	1. 肝は動&昇. 怒り・ストレス 肝の疏泄機能失調 肝鬱 火化 肝陰損傷 肝陽亢進 頭目に影響で眩暈	2. 房事過多 腎陰不足 肝陰不足 ... 肝腎陰虚 虚実挟雑証	眩暈、耳鳴り、頭部の張痛、怒ると症状増強	舌質紅、舌苔黄、脈弦数、or舌苔少 無苔、脈弦細数	行々、怒りっぽい、不眠、多夢、口苦、顔面紅潮、五心煩熱、盗汗、腰膝だるく力が入らない、遺精
8 めまい		痰濁					舌苔厚膩、脈滑	
		気血両虚	虚	脾は気血の生成 脾虚 気血生成不足 脳の栄養不良	心は血を主る. その華は面. 血虚 顔面蒼白、唇・爪甲淡白	よく眩暈が起る、横になると軽減、疲れると誘発	舌質淡、脈細無力	顔面蒼白、唇・爪甲の血色は淡白、息切れ、話すの面倒、疲労感、不眠、心悸、食欲不精神疲労、健忘、耳鳴り
		腎精不足						